



五建第024016号
平成19年 4月26日

国土交通省道路局長 様

五城目町長 渡 邊 彦兵衛



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記の件につきまして別紙のとおり回答いたします。

別紙

問1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

答え：少子高齢化の社会でも、安全かつ活力のある生活水準の確保。

現在の車社会において、道路は生活と切り離せない一つとして重要なポジションをしめている。当町においては、昭和の高度成長期時代に整備された道路がかなりのウエイトをしめており、その道路は車・歩道が分離されておらず、危険と隣合わせの生活を余儀なくされている。また、道路が狭い集落内を通るため高速交通拠点や総合病院、大型商業施設などへの移動時間がかかりいっそう過疎に拍車がかかっている状況であるため、安全で快適な道路を目指し整備を進めていきたい。

問2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

答え：交通ネットワークと渋滞緩和の構築。

秋田市への通勤圏として渋滞緩和を目指すため、近隣市町村と足並みを揃え、道路網を確立させていくと共に、物流の効率化と県内観光地を結ぶ交通ネットワークの構築が必要である。

問3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

答え：道路維持管理に関する国の補助事業の樹立。

当町におかれまして管理道路総延長 $L=183$ km、管理橋梁数 $N=111$ 橋となっており、管理には相当の町単独費を費やしている状況であります。しかしながら、昨今の町の財政事情からして現在のニーズに合ったところまでの維持管理が行えない危機に陥る状況になってきているため、簡単に行える維持管理に関する補助事業の樹立をお願いしたい。